各指標の達成状況と平成18年度の目標値

基本方針（テーマ）		指標名	指標が表す成果（[ ]内は指標の算出方法を示す）	各指標の現況値および目標値					
				平成16年度までの実績値	平成17年度の成果			平成18年度の目標値	平成19年度の目標値（平成15年度に策定）
					目標値	実績値	達成状況		
新たな交流と連携を支えるみちづくり	骨格道路の整備促進	自動車専用道路分担率（規格の高い道路を使う割合値）	●一般道路よりも走行性・安全性の高い自動車専用道路の利用頻度を示す指標 ●数値の向上は、一般道路の交通量の軽減、燃費の向上、物流の効率化、沿道環境の改善を表す [（規格の高い道路の総走行台キロ※1）／（全道路の総走行台キロ※1）]	3.0%（平成16年度平均の値）	3.0%以上を目指します	3.2%	目標達成！	3.2%以上を目指します	3.1%
	県土を一体化する道路ネットワークづくり	高規格幹線道路等供用延長	●自動車専用道路の整備状況	高規格幹線道路155km 地域高規格道路 5km	高規格幹線道路160km 地域高規格道路 5km	高規格幹線道路160km 地域高規格道路 5km	目標達成！	高規格幹線道路 166km 地域高規格道路 5km	高規格幹線道路171km 地域高規格道路7km
快適な生活を支えるみちづくり	快適な生活空間を支えるみちづくり	県民１人あたり渋滞損失時間	●渋滞によって道路利用者が被っていた時間損失を示す指標 ●数値の減少は、渋滞の削減、燃費の向上、物流の効率化、沿道環境の改善などを表す [Σ｛（区間平均旅行時間－区間基準旅行時間）×（区間交通量）×（平均乗車人員）｝／（県民総人口）]	年間31.2時間（平成16年度平均の値）	年間31.0時間	年間30.9時間	目標達成！	年間30.8時間	年間28.0時間
	魅力ある地域形成を支えるみちづくり	主要渋滞ポイント対策箇所数	●渋滞の始まりとなっている交差点への対策状況	5箇所／30箇所（2箇所／6箇所）の渋滞ポイントが解消※2	3箇所で対策を実施	2箇所/36箇所で対策を実施［1箇所で渋滞解消 1箇所で渋滞緩和］	未達成	5箇所／36箇所で対策を実施	14箇所／30箇所（4箇所／6箇所）の渋滞ポイントを解消します
	安心快適な暮らし易いみちづくり	無電柱化率	●市街地の幹線街路における無電柱化されている道路延長の割合を示す指標 ●数値の向上は、快適な通行空間の確保、都市景観の向上を表す [市街地等の幹線道路延長のうち電線類地中化済み延長]	8.9%（34.7km）	9.4%（36.6km）	9.5%（36.8km）	目標達成！	10.3%（40.0km）	11.6%（45km）
安心安全なみちづくり	災害に強いみちづくり	緊急輸送道路のダブルネットワーク率	●万が一の場合に災害復旧に向けた資材・人員を輸送する幹線道路が複数の路線で構成されている割合を示す指標 ●数値の向上は、より信頼性の高い輸送ネットワークの確立を表す [国が管理する国道の総延長のうち並行区間で高規格幹線道路が整備済み区間の延長]	32.1%	33.1%	33.4%	目標達成！	34.8%	35.9%
		防災点検対策箇所数	●平成8年度に実施した防災点検により、対策が必要な箇所として指定された箇所への対策箇所数	566箇所 / 1,718箇所（32.9%）	613箇所 / 1,718箇所（35.7%）	616箇所 / 1,718箇所（35.9）	目標達成！	668箇所 / 1,718箇所（38.9%）	634箇所 / 1,718箇所（36.9%）
		塩害橋対策箇所数	●国道7号の越波等による橋桁、橋脚等の損傷に対する対策箇所数（全17橋）	16/17箇所	17/17箇所	17/17箇所	目標達成！	ー	17/17箇所
	交通安全対策の推進	死傷事故率	●事故の発生する確率を示す指標 ●数値の低減は、道路を走行する際の事故に遭う確率の減少、安全性の向上を表す [（死傷事故件数）／（全道路の年間走行台キロ※1）]	83.1件/億台キロ（年間9,348件）（平成16年度平均の値）	事故率の削減	84.9件/億台キロ（年間9,542件）	未達成	事故率の低減	68.3件/億台キロ
		事故危険箇所対策箇所数	●事故多発箇所として指定されている箇所への対策状況	8/11箇所で対策完了（着手）	11/11箇所で対策完了（着手）	11/11箇所で対策完了(着手)	目標達成！	予定箇所における対策は完了したが、引き続き緊急的対策を実施	全ての箇所で対策を実施完了
		あんしん歩行エリア対策地域数	●歩行者・自転車関連事故の多発する地域への対策状況	8つの地域で各1～2箇所着手（合計：10箇所）	1地域で3箇所の対策を実施	4つの地域で各1～3箇所着手（合計：6箇所）	目標達成！	3つの地域で5箇所の対策を実施	全ての地域（9地域）で対策を実施完了
	安心安全な冬道の確保	冬期走行速度低下区間率	●通常期に比べ冬期の走行条件が低下している状況を示す指標 ●数値の低減は、冬期の道路の走りやすさの向上を表す [（冬期の走行速度が40km/h未満の道路の中で通常期に比べ20%以上速度低下する道路延長）／（県内の道路延長）]	34.7%（平成16年度平均の値）	34.3%	33.9%	目標達成！	33.8%	34.0%
		冬道安全道路整備率	●堆雪幅が確保された道路延長の割合・冬期の走行条件改善に向けた対策状況 [（車道部幅員8.5m以上の道路延長）／（県内の道路延長）]	11.2%	11.6%	13.6%	目標達成！	13.9%	13.0%
		歩道除雪延長（山形県が管理する国県道）	●県内の国県道（国が管理する路線を除く）の歩道のうち除雪されている道路延長・冬期の歩行空間を確保し、冬期の歩行条件改善に向けた対策状況	972.2km	981km	981km	目標達成！	990km	1,000km
山形の特性に応じたみちづくり	山形を魅せるみちづくり 有効利活用を図る柔軟な対策の推進	観光期の規格の高い道路を使う割合	●観光客が集中する時期において走行性・安全性に優れた自動車専用道路の利用頻度を示す指標 ●数値の向上は、観光客が県内の道路をより快適に利用できる度合いを表す [（観光期の高規格道路の総走行台キロ※1）／（観光期の県内道路の総走行台キロ※1）]	3.7%（H17より）（平成16年度平均の値）	3.7%以上を目指します	3.9%	目標達成！	3.9%以上を目指します	ー

※1　走行台キロとは、区間ごとの交通量と区間延長を掛け合わせた値であり、道路交通の量を表す。
※2　5箇所は主要渋滞ポイントの解消箇所数、（　）内の2箇所はその他の渋滞ポイントの解消箇所数を示す。